

海外安全対策情報（平成27年第3四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) 政府の政策等に不満をもつ一部の団体によりデモや集会等が頻繁に開催されている。
平成25年9月には環境保護を標榜する団体が、審議中の法案に反対し小銃等を携行して政府庁舎付近で抗議活動を行った結果、銃が暴発するという事件も発生した。
- (2) 国内の経済の先行きに関する不安、貧富の差の拡大や資源ナショナリズム等から、外国人をターゲットとした暴力行為や強盗・窃盗事件が昼夜を問わず発生している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) モンゴル国警察庁から入手した本年7月から9月までの犯罪統計によると、総犯罪認知件数は6,121件と前年同期に比べて17.1%の減少となっている。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	61件	（前年同期比	-1.6%
強盗	85件	（同	-37.0%
強姦	80件	（同	-1.2%
暴行・傷害	1,880件	（同	-4.6%
窃盗	1,945件	（同	-2.8%
ひったくり	40件	（同	-25.9%
詐欺	467件	（同	+1.7%

本年夏季の犯罪認知件数は、全体的に昨年より少なかったものの、インターネット等を利用した詐欺犯罪や麻薬犯罪の増加には歯止めがかかっていない。

(2) 邦人被害事案

ア 7月下旬、アルハンガイ県を旅行中の邦人男性が、現地で知り合ったモンゴル人に金を要求され、これを無視して立ち去ろうとしたところ、顔面等を殴られ、所持金を奪われる被害に遭った。

イ 8月中旬から9月中旬にかけて、ウランバートル市内中心部において、邦人旅行者がスリや置き引きに遭い、財布や携帯電話を盗まれる被害が3件報告された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

なし

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。